

USB ダンパーの導入(14) —電源供給タップへの適用(1)—

1. 始めに

前報(13)において機器の電源差し込み口での USB ダンパーの効果を認めましたので、今回は、電源供給タップへの電源ケーブル差し込み口への適用を行ってみます。

2. USB ダンパーの試聴計画

電源供給タップへの電源ケーブル差し込み口への適用を行うわけですが、電源供給タップは次のようなものがあります。

中村製作所製

KOJO 製

インフラノイズ製

オヤイデ製

このうち、インフラノイズ製とオヤイデ製の電源コードは直結ですが、中村製作所製と KOJO 製は、電源ケーブル交換式で、ともにインフラノイズ製の電源ケーブルパワーリベラメンテを使用しています。

今回は、KOJO 製のタップへのパワーリベラメンテを差し込むところに USB ダンパーを使用してみます。



この KOJO 製のタップからは、JBL4350A マルチアンプ駆動のアンプとチャンネルデバイダーF-15 の電源を採っています。これらのアンプと F-15 の電源ケーブルは直出しですので、タップへの適用に興味があります。

音源はヴォリュームアキュライザーの活用(10)で使用したアナログ盤を使用します。なお、ヴォリュームアキュライザーの活用(10)の F-15 と 45pp の VRA-7 は取り外していますが、TruPhase のヴォリュームと TruPhase 出力後のアナログアキュライザーには、VRA-7 を貼っています。

Deutsche Grammophon 483-6927/6928/6929

J.S.Bach Sonatas & Partitas

Nathan Milstein

ドイツグラモフォン MG9551

ベートーヴェン 三つのピアノソナタ (選帝侯のソナタ)

ゲザ・アンダ (ピアノ)

LONDON KLJC-9180/9184 (RTI/キングレコード)

リヒャルト・ワーグナー ワルキューレ全曲

ゲオルグ・ショルティ指揮ウイーンフィル

Angel (東芝 EMI) AA 9117・C

ゲオルグ・フードリッヒ・ヘンデル メサイア

オットー・クレンペラー指揮フィルハーモニア

3. USB ダンパーの試聴結果

電源タップへの USB ダンパーの適用なしの状態でも TruPhase のヴォリュームと TruPhase 出力後のアナログアキュライザーには、VRA-7 を貼っていることから、以前の状態から比べれば、格段にグレードの高い音を聴かせてくれています。機器の電源差し込み口と違い、電源タップを介しますので、正直言って効果は期待できないと思いつつ、電源タップへの USB ダンパーの適用を行いますと、次のようになりました。

J.S.Bach の Sonatas & Partitas は、ヴァイオリンの弦の艶が増すと同時に鮮明な音になります。

選帝侯のソナタは、打鍵がしっかりしてきて音楽の表現が聴き取れやすくなります。

ワルキューレは、オーケストラの音が緻密になり、迫力が増し、ソプラノやメゾソプラノの声に張りがでできます。

メサイアは、合唱の分離がよくなって迫力が増し、シュワルツコップの声に張りがでました。

4. まとめ

機器の電源差し込み口への直接的な効果でなく、電源タップを介しての USB ダンパーの間接的な適用でも効果を認めました。

以上